

3 人工榮養、混合榮養

◎母乳なきとき又は不足のとき人工榮養或は混合榮養を行ふ場合には其の品目、購入場所、價格

◎調乳の指導者

三、離乳期並に其の榮養狀況

1 乳(母乳、人工榮養、混合榮養)のみを以て保育する期間

◎生後何ヶ月迄、乳のみで育てるか勿論個々の場合により異なるべしと雖も最も長く乳のみで育てる場合、最も早く他の食物を喰べさせる場合、普通の場合等に別ちて其の期間(生れて何日目)の記述

2 乳以外の榮養

イ、喰初めの習慣

△ 喰初は生れて何ヶ月位にどんな仕方で行ふか、如何なるものを喰べさせるか

ロ、乳離れをする迄の喰べ物の順序

A 乳以外のものを少しづつ喰べさせ初める時期(生後何日目)

B 其の時の食物、調理法、分量、度数(一日に何回位)

C おまじり(粥のうすいもの)を喰べさせ初める時期(生後何日目位から)。其の作り方。米から作るか、御飯から作るか(米から作る場合には米と水との割合)。

D お粥を喰べさせる時期(生後何日目位から)。其の作り方(米から作るか、御飯から作るか。米から作る場合は米と水との割合)。

E 其の他の食品(食品例は別刷)を喰べさせる時期、調理方法並に其の分量等

右の食品品目は別紙(別記)記載の如きものを言ふのであるが、其の他地方に依り異なる食物あれば何なりと、出来るだけ詳細に記述すること

F お乳を含ませるのを全く止めて終ふ時期

△ 早いのは何ヶ月位

△ 遅いのは何歳位

△ 一般には何ヶ月位

恩賜財團愛育會並財團法人中央社會事業協會 業協會兒童發育經過並罹病狀況調査

恩賜財團愛育會並財團法人中央社會事業協會に於ては、厚生省社會局兒童課及人口問題研究所と聯絡、昭和十四年五月實施の乳幼児診査の結果(本欄「乳幼児診査票の集計及研究」の項参照)を基礎とし、前回診査の二萬の乳幼児につき一箇年經過後の發育經過及罹病狀況に關し調査を計畫中のところ此の程決定を見て愈々實施することとなつた。其の要綱及調査票様式は左の如くである。

兒童發育經過並罹病狀況調査要綱

一、主旨

昭和十四年五月五日を中心として一週間行はれたる兒童愛護週間に實施せられたる本邦三十三府縣に於ける乳幼児狀況調査を基礎とし一箇年經過せる本年自五月至十一月兒童の發育經過並罹病狀況の經過を調査し我が邦乳幼児保護、人的資源擴充の方策を樹つるの資に供せんとす

一、調査方法

全國各道府縣(社會課、社會事業協會、社會課地方技師)に依頼し昨年審查せる兒童を其の母若くは母

に代るべき者と共に一定場所に集合せしめ問審と兒童身體の實地診査により調査す

一、調査事項

(一) 姓名、生年月日、性別

(二) 現在の狀況

1 健否

2 榮養

(三) 發育經過

1 身長

2 體重

(四) 罹病經過

1 病名

2 期間

3 醫師の診察及服藥の有無

4 賣藥利用の場合其の品名

5 醫療費(一ヶ年)

(五) 榮養經過

1 現在の主食物

2 離乳期の食物の攝取狀況

(六) 兒童保護施設の利用狀況

1 季節保育所(自 年 月 日至 年 月 日)

2 常設保育所(自 年 月 日至 年 月 日)

3 保健婦訪問(回数)

(七) 死亡者に付て

1 病名

2 發病時期

3 經過

4 死亡年月日

5 醫療の有無

